

平成29年10月18日現在 「市田柿」の成熟状況

南信州農業改良普及センター、JAみなみ信州

1 成熟の傾向

- 秋雨前線の影響で果実糖度が上昇してこない。
- 雨の影響で条紋の発生が多くなってきている。
- 着色は連日の低温により果頂部は進んで見えるが、ヘタ下は青い。
- 今後の気象によっては、条紋の発生から果頂軟化が心配される。

2 収穫時期の判断

- 樹外部からの着色はよく見えるが、へた部の着色は遅れている傾向のため、樹内部から着色を確認してから行う。
- 硬度の低下は例年並みとなっているので、へた部の着色向上及び果実の弾力をよく確認しながら早採りしない。
- 樹冠外部と内部の果実の熟度差が大きいので、収穫開始の判断は成熟が早い樹冠外部の果実で行う。

3 収穫開始時期（見込み）

- これからの気象にもよるが、収穫の開始時期の目安としては標高別に以下のとおりと思われる。
 - 標高 400～500m：10月29日前後から
 - 標高 500～600m：10月31日前後から
 - 標高 600m以上：11月4日前後から
- 収穫は樹冠外部の果実から行うなど、熟度を見ながら数回に分けて行う。

4 条紋対策

- 条紋の発生が多くなってきている。条紋発生が多い園では、炭疽病等病害防除のためトップジンM水和剤（1500倍・収穫前日まで・6回以内・200～700リットル/10a：JPP ネット10月18日現在の登録内容確認）を散布する。

5 その他

次回の熟度調査は10月25日

農薬の使用に当たっては、必ずラベルの記載内容を再度確認してください。